

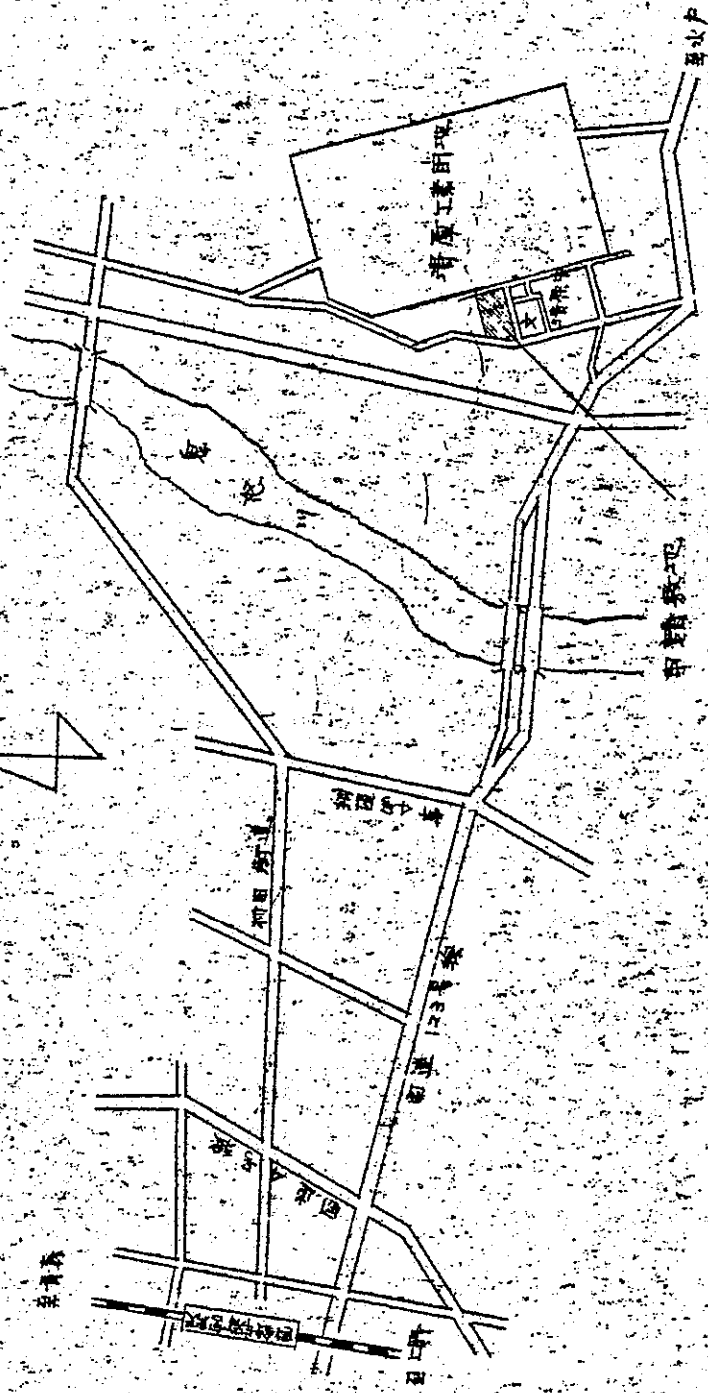
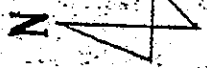
## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

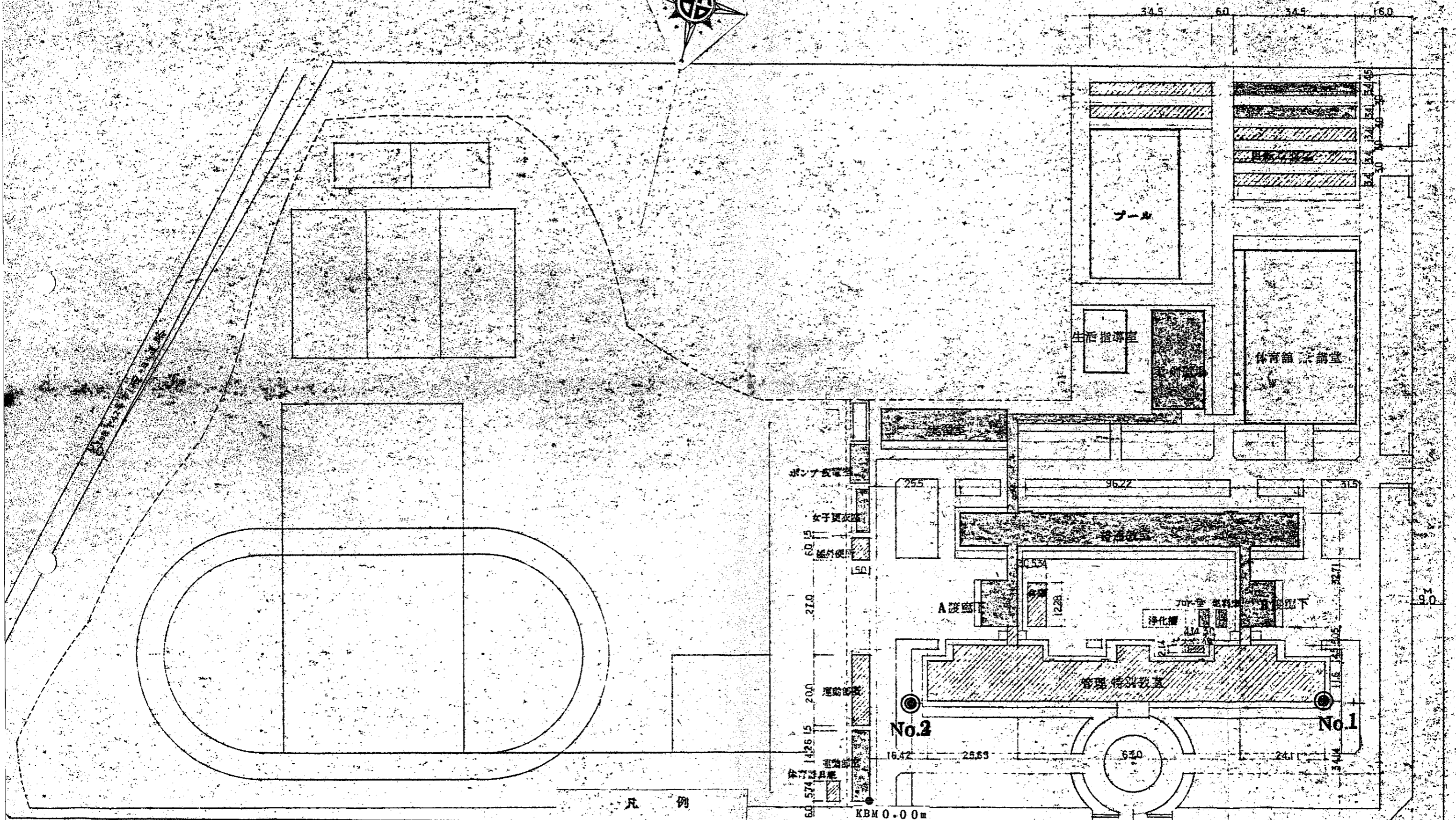
栃木県土木部建築課

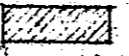




寺町宮竹下町字丁野原 908.5

案 内 図

地質調査位置図 縮尺 1:1000



- 凡 例
-  新築建物
  -  在来建物
  -  跡画建物

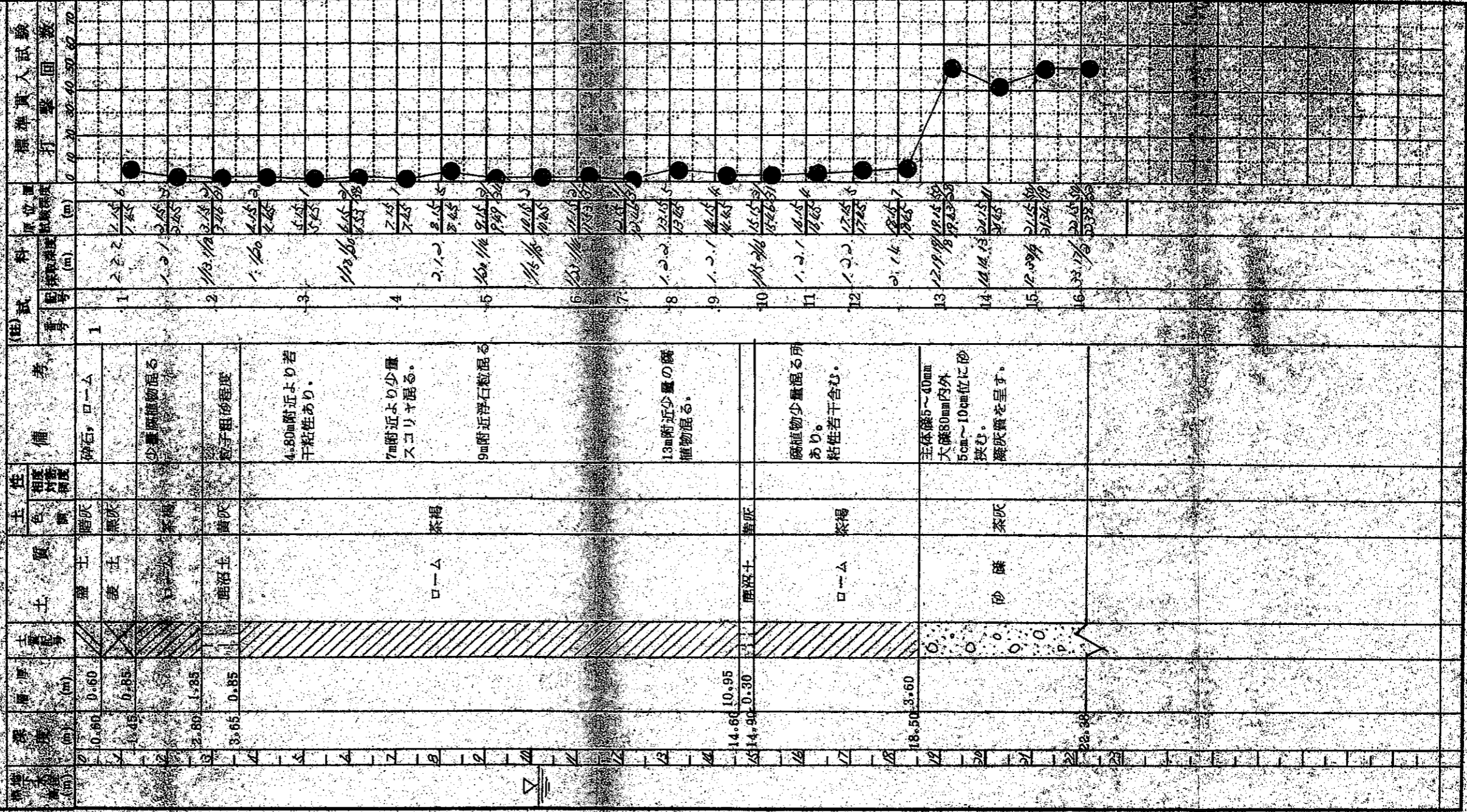
20442号地  
20442号地

# ボーリング柱状図

調査名 坂跡県立宇都宮地区高校管理特別教室棟 新築工事 地質調査委託 調査場所 宇都宮市竹下町字下東原908-3 調査期間 昭和60年3月 日 月 日 地盤高 +0.288 m (基準面 B M +10.000m )

## 概要

調査担当者 調査期間 昭和60年3月 日 月 日 地下(孔内)水位 GL-10.05.0m (泥於)



# ボーリング柱状図

調査名 阪南地区都立地区高校管理特別教室棟  
新築工事地質調査委託

調査場所 宇都宮市竹下町字下東原908-3  
孔番 No. 2 地盤高 -0.002 m  
(基準面 KBM +1-0.000m)

## 摘要

地 形 \_\_\_\_\_

調査期間 昭和 60 年 3 月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-9.80m (泥水)

調査担当者 \_\_\_\_\_

